

近畿酒造機関連携による地域資源活用開発WG

国立研究開発法人産業技術総合研究所 関西センター、地方独立行政法人大阪産業技術研究所、地方独立行政法人京都市産業技術研究所、京都府中小企業技術センター、滋賀県工業技術総合センター、奈良県産業振興総合センター、兵庫県立工業技術センター、福井県食品加工研究所、和歌山県工業技術センター、独立行政法人製品評価技術基盤機構

授与の理由

- ・本WGでは、酒造産業の海外展開のためのブランド化や新技術開発を行うため、平成28年度から研究連携プロジェクト事業を活用して、酵母の育種や清酒小スケール試験等を実施してきた。
- ・「小仕込試験手順書」を策定して参加メンバーで標準化を図るとともに、兵庫県で地域未来投資促進法に基づく連携支援体制を実現した。

活動内容

目的:アジア地区への輸出振興

国内生産の過半を担う近畿地域清酒ブランドの構築

ブランド構築に向けた共通課題の抽出
酵母育種に向けた課題の検証(H28)

課題:
小スケール試験における機関間
再現性の担保(H29-30)
⇒標準化(小仕込試験手順書)

近畿地域部会 食品バイオ分科会
近畿日本酒研究会発足 ⇒WG活動成果の普及
地域未来投資促進法に基づく連携支援体制構築
(兵庫県:産総研・NITE・京都市産技研)

課題:
各種酵母間の特性把握(R1)

今後の活動:先端バイオ・計測・解析の技術導入
により近畿地域清酒ブランドの構築をめざす!!

(国研)産業技術総合研究所:生産性向上のための計測・解析技術提供

(独)製品評価技術基盤機構:新規清酒製造用微生物に関する情報提供

